

ともはつよし社

孝明天皇と大本裏の神業《下》 目次

第4部 「ミロクの世界」への鍵となる言霊の威力とは？

第14章 北伊勢三保山に鎮座した国祖神……大日本皇大神の鎮祭 13

『大日本皇大神』の鎮祭……「世の大峠」に善悪正邪を立別ける神が出現する――13

宇宙動変と救世神業……天水翁の備忘録が告げる宇宙大変動――17

人類最終戦争ハルマゲドン……世界を襲う灼熱地獄――21

神の経綸に織り込まれた核戦争……核戦争の衝撃波により起こる「世の大峠」――25

第15章 北伊勢三保山に鎮座した救世主神……茜三龍神 30

救世の確約書『天言鏡』……王仁三郎の靈身が伝達した10巻の神書――30

北伊勢「錦の宮」に鎮祭された茜三龍神……世界魁の内宮を守護する茜大神——32

茜三龍神の鎮祭……世の最後に出現する救世主神と救世の二龍神——34

茜三龍神の言霊神・八雲寿永和魂……一輪の仕組に活動する八雲寿永和魂——36

中山琴主と孝明天皇……八雲寿永和魂と孝明天皇との奇しびなる神縁——39

三体龍神祭行事……重疊的に織り込まれたミロク三会の型——44

三保山の三龍神の活動……三保山に続々と集結する因縁の身魂——46

第16章 新文明を築き上げる神政宮殿……神界が用意した「比良の宮」 52

比良の仕組……「ミロクの世」を切り開く「比良の宮」——52

「比良の宮」の謎……「錦の宮」と伯耆大山に出現する「比良の宮」——56

比良経綸を断行する弥勒大神と不動明王……不動明王とは国祖の異名——58

「比良の宮」経綸の行方……出雲の国からアジア全域に拡散する新文明——60

ヒマラヤ秘境の聖地……現代に生きる神仙の聖域——64

現代のヒマラヤと日本を結ぶ霊線……ヒマラヤ秘教を継承する日本女性——66

第17章 天水翁の言霊神業……人類大峠からの蘇生と祭政一致の神政国家の誕生 75

言霊神業その一……人類蘇生と天地創造の救世神法――75

言霊神業その二……至仁至愛文明への道開き――77

言霊神業その三……新生日本の瑞穂国の建国――81

第18章 言霊の力徳 84

天地の神霊に感応する言霊の世界……地震を鎮め雷霆を叱咤し豪雨を左右する言霊――84
聖地で宣り上げる「天津祝詞」の力……「言霊の力」の実在性を知る――88

第19章 「ミロクの世界」の皇道経済……大家族制度を基盤とした天産自給経済 92

第20章 皇道大本の行者白山義高……世界宗教統合の道開き 104

第21章 天立君主による神政……靈性文明は祭政一致の神政により確立する 113

祭政一致の天立君主立憲政体……世界を立直す神政――113

四国剣山神業……天立君主立憲政体の宣言――117

「ミロクの世界」の天立君主……地球神界の主宰神国祖と神人合一した神政――122

第5部 臨死体験の真の意義を検証する

第22章 死後の世界の探求……欧米で始まった臨死体験研究 127

医学博士レイモンド・ムーディから始まった死後の世界への探究――127

臨死体験とは……ケネス・リングの「原型的臨死体験」――131

臨死体験の中核要素「光の体験」……「光の体験」の体験率――133

第23章 光の体験……「光の存在」が、人類を霊的進化へと導く 135

人類を変容させる「光の体験」……神から発出される光の力――135

愛とやすらぎに満ちた『光の世界』……光明世界こそ魂の故郷――137

完全なる知識に満ちた「光の存在」……あらゆる質問に即答する――138

光の世界で神と出会う……超越的な光の主はキリストなのか？――142

日本文学研究者・鈴木秀子氏の「光の体験」……「光の主」からのメッセージ――144

経済学者・飯田史彦氏の「光の体験」……「究極の光」との出会い――146

「究極の光」の正体……私たちが自身が「究極の光」――148

霊界は光の階級世界……「輝く光」たちと「究極の光」が存在する世界――150

「究極の光」と「光の同志たち」との対話……臨死体験は真理と愛を学ぶ霊的修行――152

人類の霊性復活への道……「光の体験」と「人生回顧」が自己変容を起こす――154

第24章 臨死なき臨死体験……臨死体験は死への移行体験ではなかった！ 157

非臨死者の「光の体験」……健康な状態でも「光の体験」は起こる――157

臨死なき臨死体験……臨死体験は、臨死状態だけで起こる特殊な現象ではない――160

臨死体験は主観こそが現実……生と死の境界領域は、想念世界である――163

地上の人間は「天界の光」に包まれて霊界を見る……現界と天界を繋ぐ光――166

第25章 臨死体験のもたらす自己変容 169

臨死体験の霊的意義……なぜ臨死体験が起こるのか？――169

臨死体験は、霊的成長の道を開く……激変する人生観・死生観――171

臨死体験者は、死後の世界を確信する……人は決して死ぬことはない――175

臨死体験者は、普遍的な愛と智慧に目覚める……宇宙の本源は愛と智慧——179
臨死体験者は全一的な宇宙意識に目覚める……人は巨大な宇宙意識の一部——181
臨死体験者は、超能力に目覚める……霊界から発信される超常的能力——183
臨死体験者・鈴木秀子氏の超常能力の覚醒……重篤患者を癒し、人の死期を見通す——185

第26章 王仁三郎・キリスト・黒住宗忠の超能力の覚醒……

臨死体験がもたらした驚異の霊能力 190

出口王仁三郎の臨死体験の世界……断食による霊界探訪——190

臨死体験が生み出した超能力の世界……王仁三郎の飛躍的な霊能力の目覚め——194

世界宗教を誕生させたキリストの臨死体験……荒野40日の断食修行——196

キリストの超常的な治癒能力……「聖書」に記載されたイエスの奇跡——198

王仁三郎の超常的な治癒能力……蒙古で見せた驚異の力——200

キリストと王仁三郎の氣象を操る神力……暴風雨を鎮めた言霊力——203

黒住教を開いた黒住宗忠の「天命直授」……ろうがい 労咳からの回復で得た霊界との交通路——207

黒住宗忠の發揮した神人合一による無限の神徳……日本のキリスト宗忠——209

第6部 王仁三郎の霊界探訪が伝える霊界の真の姿

第27章 天界 215

王仁三郎とスウェーデンボルグ……『霊界物語』と『天界と地獄』—— 215

霊界は三大境域に分かれている……天界・地獄界・中有界の三大境域—— 219

天界は、天国と靈国の二大神域からなる……天界は180段の階層構造—— 221

天界は愛善と信真の光明の階層世界である……天国の太陽と靈国の月—— 224

光の天人は智慧相応の光り輝く衣服を着用……臨死体験者の見た光の衣—— 229

「光の存在」とは霊界の天人である……180の階位がある「光の存在」—— 231

第28章 中有界と地獄界 237

靈魂の行き先が決まる三途の川……靈魂の善悪正邪の査定の場—— 237

浄罪界としての中有界……人生を回顧し浄罪する最後の機会—— 242

定められている人間の寿命……霊界の生死簿—— 248

中有界の審判原理……3段階を経て天界・地獄へ振り分けられる死後の道筋——250
死後の人間の第三の状態……天界に入る者たちの教育——252
私たち精霊の大多数は中有界・地獄界に籍を置いている——256
地獄を垣間見る臨死体験……みだりに出入りすることができない地獄の入り口——259

第29章 光明世界の天人 264

天人は光明世界への道先案内人……人は天人を介して「光の世界」へ復帰する——264
天人との靈的想念の共有化現象……媒介天人を経て覚知する神の光明——268
天人たちの超絶した証覚……計り知れない天人の神的知恵——270
靈界の真相を伝達する預言者の真偽……帰神・神懸・神憑——273
靈的意義により解される聖言……預言警告の真解——277

最終章 人類一斉の臨死体験による靈的進化 282

人類は臨死体験を通して靈的進化を遂げる……地球的規模の破壊を回避する道——282
臨死体験者の見た未来世界のビジョン……地球規模の大変動・核戦争——284

ともはつよし社

あとがき | 292
引用・参考文献 | 295

ともはつよし社

校正 妻秋アートセンター

本文仮名書体 文麗仮名(キャップス)